

()実績(見込)値1が計画目標値に届かない理由

()改善に向けた取組み及び今後の見通し

計画どおり、順調に推移しております。

()実績(見込)値が計画目標値に届かない理由

()改善に向けた取組み及び今後の見通し

定員適正化計画よりさらに一人削減する予定でもっていくか検討中

団体名	沖縄県うるま市
会計名	水道事業会計

改善額

() 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	改善額合計	補償金免除額
計画目標値(A)	92	162	165	178	181	778	141
実績(見込)値(B)	100	158	165	178	181	782	
乖離値(C) (B - A)	8.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0	641.0
乖離率(D) (C / A)	8.7%	-2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	454.6%

() 要因分析

改善額合計の 未達成の要因	影響額(単位:百万円)						備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	合計	
有収率の計画値を上回った	8					8	H19は有収率等の計画値を8百万上回った
有収率の計画値を下回った		4				-4	H20は有収率等の計画値を4百万下回ったが、H19、H20の2カ年合計では4百万上回っているH21年は計画値を達成できる見込みである。
合計	8	4	-	-	-	4	

()実績(見込)値が計画目標値に届かない理由

主に有収率については漏水を発見して修理を行う件数に対し、修理後に再び漏水する件数が多くなったために、低下する要因となっているが、平成19年と平成20年の改善額の合計と比較した場合は4百万の実績値を上回っています。

()改善に向けた取組み及び今後の見通し

有収率の低下の原因は老朽化した給水管が多く、漏水発生の多い給水管の更新作業が急務であると判断され、老朽給水管更新事業として、工事費を毎年度予算計上していき、有収率の改善に努めたい。

また、平成21年度予算においては国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業を活用して、老朽化給水管更新事業を上乗実施し、より効果を目指していきます。

また、これからも他の経常経費を削減できるものはないか、その他の経費についても見直して、当初の計画値をめざします。

団体名	沖縄県うるま市
会計名	水道事業会計

累積欠損金比率

()推移表

(単位:%)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)						
実績(見込)値(B)						
乖離値(C) (A - B)						
乖離率(D) (C / A)						

()要因分析

(単位:百万円、%)

	計画最終年度(平成23年度)	
	計画目標値算出時(A)	実績見込値算出時(B)
分母(営業収益等)		
分子(累積欠損金)		
累積欠損金比率		

分母悪化要因

(単位:百万円)

要因	影響額(百万円)	備考
合計	-	

分子悪化要因

(単位:百万円)

年度	純損益		乖離値(A-B)	乖離要因
	計画目標値(A)	実績見込値(B)		
平成19年度				
平成20年度				
平成21年度				
平成22年度				
平成23年度				
合計			-	

()実績(見込)値が計画目標値に届かない理由

()改善に向けた取組み及び今後の見通し

基準年度から、累積欠損金比率はなく、計画年度期間中においても累積欠損金比率は発生させない計画です。